

■ショートコメント■

◆本作の監督は、本作ではじめてデンマークのアカデミー賞作品賞他主要9部門を受賞した女性メイ・エル・トーキー。これは、デンマークが誇る偉大な女性監督ササンネ・ピア、ロネ・シェルフイグですら成し得なかった快挙らしい。さらに、同作はサンダンス映画祭をはじめ、世界の映画祭で多くの賞を受賞したらしい。そのタイトル『罪と女王』とチラシの写真を見るだけでも非常に刺激的だから、こりゃ必見！

◆本作の主人公アンネ（トリーヌ・ディルホルム）は、児童保護を専門にしている女性弁護士だが、事務所を見ても自宅を見ても立派なもの。夫のペーター（マグナス・クレッペル）は再婚らしいが、ペーターも医者だから、なおさらリッチ。双子の娘も今は中学生ぐらい・・・？そんな家庭の中にペーターと先妻との間に生まれた、今は17才になっている息子グスタフ（グスタフ・リン）を、スウェーデンからデンマークの自宅に引き取るようになったところからストーリーが始まっていく。

先妻の教育が悪かったためか、それとも、もともとひねくれていたのか、グスタフは相当の問題児で、とりわけ父親に心を開くことはなかったから前途多難だ。しかし、そんな少年少女の心理に詳しいアンネは、夫の父親としての立場を守りつつ、何とかグスタフの心を開こうと努力することに。

◆ペーターもアンネも40歳代後半だと思われるが、この夫婦は夜の営み面もお盛んらしい。ところが、アンネが母親代わりとしてグスタフに接しているうちに、なぜかアンネの心中には思わぬ性的欲望が・・・？こうなると女性監督メイ・エル・トーキーならではのお手のもので、あえてそれを本作のメインテーマに据えたわけだが、残念ながら男の私

にはサッパリ……。ある夜のアンネの衝動的な行動を見ていると、本作はまるでポルノ映画？そして、「そんな出来事」が起きた後に展開される、本作中盤のインチキだらけの幸せ家族の風景は……？

◆もちろん、これは誰にもバレてはならない2人だけの絶対的なヒミツ！当然そうだが、ある日、息子とハラを割った触れ合いをするべく、2人でキャンプに出かけたペーターが、自宅に戻り、アンネに「ある質問」を投げかけると……？

アンネは経験豊かな弁護士だが、グスタフはまだ17才の少年。したがって、グスタフが口から出まかせのウソをつくこともある。しかも、父親の気を引きたいと思えば、かなり極端なウソをつくことも……。それがアンネの言い分だが、アレレ……？

チラシには「知的で愛情深い女性が、悪意と支配に染まる——」と書かれているが、女とはそこまで徹底的にウソをつける動物なの？

◆終盤に入ってからそんなハラハラドキドキの展開(?)はさすがにポルノ映画ではなく、多くの映画賞受賞作と思える出来栄えだが、私にはイマイチ。そしてまた、好きになれない映画という以上に、極めて後味の悪い映画になることに。

デンマーク・アカデミー賞 主要9部門受賞

作品賞・監督賞・主演女優賞・助演男優賞・撮影賞・脚本賞・編集賞・音楽賞・音響デザイン賞

サンダンス
映画祭
最高賞
受賞

アカデミー賞
国際長編映画賞
デンマーク代表

ノルディック
映画祭
観客賞
受賞

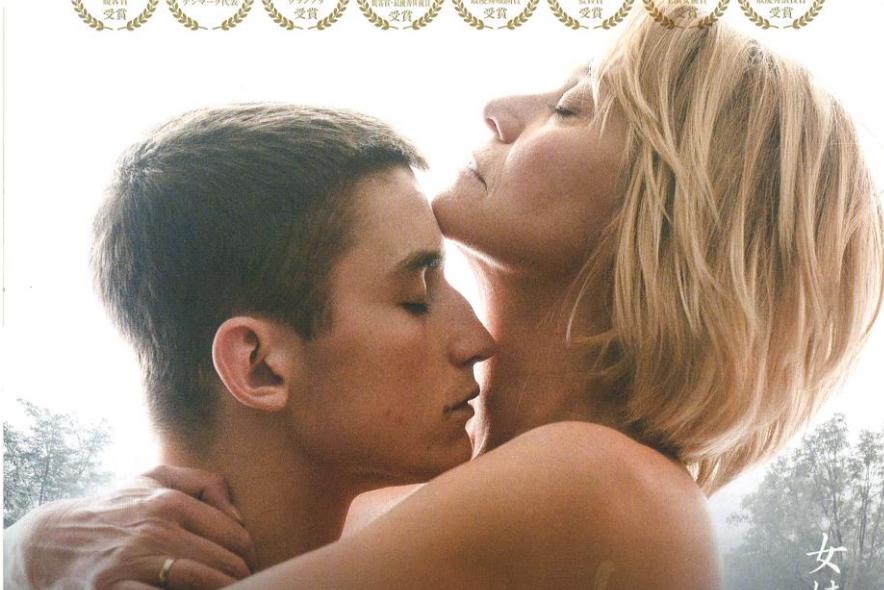
ヨーロピ
国際映画祭
最優秀演技賞
受賞

ブラデルフィア
映画祭
最優秀演技賞
受賞

トランシルヴァニア
国際映画祭
監督賞
受賞

チューリッヒ
映画祭
最高賞
受賞

香港
国際映画祭
最優秀演技賞
受賞



罪と女王

女は、守るために、
残酷になる

NORDISK FILM PRODUKTION A/S PRESENTS QUEEN OF HEARTS. TRINE DYWHOLM, MAGNUS KREPPER, GUSTAV LINDH.
LINE PRODUCER KIM ARMY, TOPIC CASTING DJAMILA HANSEN & KABIN (AG), DR. SHIN, REBECCA, REBECCA, RICHMOND, MAKI, LIP, DESIGN ANNE CATHERINE SAUERBERG.
SOUND DESIGN OSKAR SKJOTTER, COMPOSER JON ESKILD, PRODUCTION DESIGNER MIA STENSGAARD, EDITOR HANSLUS STEINSGAARD MADSEN,
CINEMATOGRAPHER HENRIK SPANNING, EXECUTIVE PRODUCERS BEBERGZON, CO-PRODUCERS MARIUS BRUHALT, PRODUCERS ANDREW BLAND AND A RUNCIEZKA,
SCHEENFLAY, MAREN LOBBE, KALISKE & MAY EL, JOUKUP, DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY MATEJ JOUKUP, PRODUCED BY NORDISK FILM PRODUKTION A/S
IN COLLABORATION WITH DRISK SVT, WITH SUPPORT FROM THE DANISH FILM INSTITUTE, THE SWEDISH FILM INSTITUTE & NORDISK FILM & TV FOND.

監督・脚本: マイ・エルトキー 出演: トリヌ・ディホルム「愛さねえおっぱい」/ グスタフ・リン「マクス・クレッペル」/ リンドグレン
2019年 / デンマーク・スウェーデン / デンマーク語・スウェーデン語 / 127分 / シネマコ / 原題: Dronningen (愛題: Queen of Hearts)
原簿: アット・エンタテインメント ©2019 Nordisk Film Produktion A/S. All rights reserved. [R15]
www.a-t-e.co.jp film/queen/

仕事、家庭、すべて完璧な女性が犯した、
義理の息子への禁断の誘惑。
大人の欲望の犠牲となり、
狡猾な裏切りに絶望した少年の心は—
本国&北欧の映画賞を制覇!
息をのむ衝撃作!



世界の映画祭で22の受賞&17部門ノミネート!

人間の暗部を描き出す数々の北欧傑作に続く、新たな衝撃作が誕生!
完璧な人格が崩壊し、少年が犠牲になる悲劇に、打ちのめされながら釘付けになる——



歴史的快挙! 史上初めて女性監督がデンマーク・アカデミー賞作品賞を受賞!

その衝撃はサンダンス映画祭の観客賞受賞で始まり、圧倒的国内評価でアカデミー賞デンマーク代表作品に決定、そしてデンマークが誇る偉大な女性監督スサンネ・ピア、ロネ・シェルフイグですら成し得なかった女性初のデンマーク・アカデミー賞(ロバート賞)作品賞受賞ほか圧巻の主要9部門受賞!さらに北欧最大の映画賞であるヨーテボリ国際映画祭で最優秀ノルディック賞・観客賞・最優秀俳優賞の3冠受賞、北欧5カ国から選出されるノルディック映画賞でもグランプリに輝き、堂々2019年の北欧を代表する本作は、男性的権力者(王)から若い女性への性的虐待へ

の非難は明快だが、女性権力者(女王)と若い男性の関係となると判断がグレーゾーンになることへの着目起点に、メイ・エルト・キー監督が挑戦した意欲作。知的な女性がモンスターへと変貌する難役を、ベルリン映画祭最優秀女優賞を受賞したこともある国際的名女優トリース・ディルムが見事に演じ、大人の嘘を受け入れられない真っ直ぐな少年を演じた新星グスタフ・リンは鮮烈な印象を焼き付け、「ダンサー・イン・ザ・ダーク」「アフター・ウェディング」「偽りなき者」、「フレンチアルプスで起きたこと」など数々の北欧傑作に続く新たな衝撃作が誕生した。



この悲劇に、何度も心を鷲掴みにされ痛みを覚える —The New York Times—
アンネの恐ろしい行動は私たちの内にもあり、私たちは彼女の共犯でもある —Screen Daily—



知的で愛情深い女性が、悪意と支配に染まる——

児童保護を専門とする優秀な弁護士アンネは、優しい医者夫婦と幼い双子の娘たちと美しい邸宅で完璧な家庭を築いていたが、夫と前妻との息子である17歳の少年グスタフが問題を起こし退学になったため、スウェーデンからデンマークに引き取ることに。グスタフは衝動的な暴力性があり家族に馴染もうとしなかったが、そんな子供達と仕事で常に接しているアンネは根気よく彼を家族として迎え正しい方向へ導こうと努める。しかし、グスタフと少しずつ距離を縮めていくうちに、親密さが行き過ぎてしまい、アンネはグスタフと性的関係を持つてしまう。そして、そのことが大切な家庭とキャリアを脅かし始めた時、アンネは残酷な選択をする——

監督・脚本:メイ・エルト・キー 共同脚本:スサンネ・ピア・スウェーデン 製作総指揮:ヘンリク・ワグネル「THE GUILTY / ギルティ」製作:キャロライン・ファンコ「モンスター・ワールド」、ルネ・エズラ「ある戦争」、撮影:ヤスパー・バク「THE GUILTY / ギルティ」音楽:ヨハン・エクスランド「ライフ」チャイルド14 森に消えた子供たち」出演:アンネ・トリース・ディルム「愛さなければ」「1917」「グレン」グスタフ:グスタフ・リン「ノーターマグヌス・ウレヘル」モニカ:ムニムニム 犬と戯れる女子「1917」クレジット:サトウ・シスターズ・フィルムズ・エルリック・ブレイバント・クリステンセン
2019年、デンマーク・スウェーデン・デンマーク・スウェーデン出品、127分 / シネスコ / 原題:Dronningen (英題:Queen Of Hearts) R15+
配給:アト・エック・イン・メット ©2019 Nordisk Film Production A/S. All rights reserved. www.at-e.co.jp/film/queen/

5月8日(金)嘘が始まる——

有明シネマ インドアシアター4F
ヒューマントラストシネマ有楽町
03 (6259) 8608 ttcg.jp
エチアトルシネマグループ

毎週土曜日に公開! 映画館1クワースト 3F
シネ・リーブル梅田
06 (6440) 5930 ttcg.jp
エチアトルシネマグループ

2020 (令和2) 年6月12日記